

Rai



Fiction

e

c i a o  
ragazzi!

PRESENTANO



Un Film di Marco Turco

C'era una volta la città dei matti.

Con Fabrizio Gifuni e Vittoria Puccini

Prodotto da Claudia Mori

監督：マルコ・トゥルコ

# むかしMattoの町があった

## 苫小牧上映会

日時：平成26年2月1日（土）

開場 12:30

開会 13:00

会場：苫小牧市文化会館ホール

主催：映画「むかしMattoの町があった」苫小牧  
上映実行委員会、医療法人こぶし、社会福祉法  
人せらび後援会、バザリア映画を自主上映す  
る180人のMattoの会

料金：資料代1,000円

制作：クラウディア・モーリ



## 【映画の概要と上映にあたって】

映画「むかしMattoの町があった」は、1978年、イタリアで国内の精神病院を廃止する新しい精神保健法（バザーリア法）が成立するまでの過程を、精神病院廃絶を唱えた精神科医フランコ・バザーリアと、彼をめぐる患者たちとの生き様、家族、支援者の苦悩も含めて描いた作品です。

この映画で描かれるイタリアで精神病院が縮小されていった時代は、日本においては、逆に精神病院が増設されていった時代でもあるのです。イタリアで精神病院が全廃されるまでには20年の歳月がかかりました。そして、代わりに町中には24時間体制で精神障害者を地域で支える精神保健センターが設置され、病院の機能はそこに移されていったのです。

日本では、障害者総合支援法の中で精神科病院の長期入院者の退院を進め、地域での生活を支援するため、地域移行支援・地域定着支援が新たに障害福祉サービスとして位置づけられました。その意味でも、この映画の上映が、精神障害者を地域で支えていくことを考える機会となればと思います。

## 映画「むかしMattoの町があった」苫小牧上映会

- 日時：平成26年2月1日（土） 開場 12:30 開会 13:00
- 会場：苫小牧市文化会館ホール
- 主催：映画「むかしMattoの町があった」苫小牧上映実行委員会、医療法人こぶし、社会福祉法人せらび後援会、バザーリア映画を自主上映する180人のMattoの会
- 協力：RAI フィクション、フランカ&フランコ・バザーリア記念財団、トリエステ精神保健局
- 後援：イタリア大使館、苫小牧市、苫小牧市教育委員会、苫小牧市社会福祉協議会、北海道苫小牧保健所、医療法人社団玄洋会、医療法人大島記念会、NPO法人もなみ会、NPO法人紙風船・とまこまい、苫小牧地域精神障害者支援事業協議会、苫小牧地域生活支援センター
- 料金：資料代1,000円（資料引換券あり）
- 定員：200名
- 問い合わせ先：  
社会福祉法人せらび後援会 電話0144-75-2328  
苫小牧地域生活支援センター 電話0144-75-2808